

発行所
長野県保険医協会
〒380-0906長野市鶴賀629-1
長野東口ビル9F
電話 026(226)0086
FAX 026(226)8698
E-mail nagano-ok@doc-net.or.jp
ホームページ http://www.medical-post.net/
年間購読料 3,600円



2011年(平成22年)3月25日
No.361(毎月1回25日発行)
(1990年6月22日第三種郵便物認可)
主な記事
歯科の診療報酬改定評価など/施設基準関係研修会報告...2面、協同組合ニュース...3,4面、関東信越指導対策担当者会議報告など...5面 理事会だよりほか...6面

歯科の診療報酬改善要望で 北信越ブロック、厚労省保険局医療課と懇談

保団連北信越ブロックは、3月10日、田中美絵子衆議院議員(民主党・比例北信越選出)の仲介により厚労省と「歯科医療を充実するための懇談会」をもった。同ブロックの歯科としては2006年6月以来の厚労省との懇談。北信越の各協会・医会からは長野・鈴木会長と市川副会長、新潟・浦田副会長、石川・平田副会長と5県の歯科社担当事務局が加わり計11名が参加。厚労省は保険局医療課・宮原課長補佐、青木歯科医療専門官の2氏が対応した。衆議院厚生労働委員でもある

田中議員の同席のもと、同ブロックでまとめた要望のうち7つの緊急是正要求項目(2面に掲載)を中心に1時間半にわたり意見交換があった。冒頭、田中議員は「皆様の声にも耳を傾け、国民の皆様に適切かつ効果的な歯科医療をできるように委員として全力で努めてまいりたい」と挨拶、忌憚のない意見交換を促した。宮原課長補佐は「机の上だけでは現場と乖離するだけ」であり、現場の声を聞き、「臨床実態に即した診療報酬の体系を目指していくとの基本姿勢



田中議員同席のもと保険局医療課の宮原課長補佐(右)らと懇談

もっている」として懇談に臨んでいるが、通知レベルも中医協で審議されている中では、「厚労省の事務方が勝手に決められるシステムでない」と前もって説明。北信越からの義歯管理料の装置単位での算定、機械的歯面清掃の毎月算定などの要

協会定期総会、全議事提案通り可決
総会関係は記念講演も含め次号詳細特集
長野県保険医協会は3月21日松本市のホテルモンターニュで第32回定期総会を開き、新年度活動方針や予算など5議案を会員に事前送付の議案書通り提案し可決。議案書では「6.決議の件」とだけあり、当日提出の決議と要望も会場配布の提案通り可決した。**会費は前年と同額** 協会の会費は、毎年の予



記念講演は国民皆保険50年で今危機にある国保に焦点

算案の中に月額会費金額が盛り込まれて決まるが、予算案の可決により、開業医5千円(月額)、勤務医3千円(同)と、いずれも前年同額と決まった。

総会議事前の時間帯に開催の記念講演は、「皆保険50年、今、国保の危機



新年度の方針や予算などを決めた長野県保険医協会の第32回定期総会の議事

をどう乗り越えるか」と焦点を絞り立教大学の芝田英昭教授が行った。

東日本大震災の関係 保団連の募金にご協力をお願いします

東日本大震災の被災された皆様にご協力をお願いします。各方面で義援金の募金が始まっています中、全国保険医団体連合会=保団連でも「救援募金」を開始しますので、ご協力ください。4月5日付の全国保険医新聞に郵便局の窓口から振込み可能な赤インク刷り払込取扱票(通称「赤の振込用紙」)が折り込まれますので、その用紙をご利用ください。通信欄に太

字で東日本大震災救急募金(1口5000円、できれば2口以上)と記載されていますが、募金ですので、金額の多寡は問いません。発送に万全をきしますが、振込用紙が見あたらない場合は、長野県保険医協会(電話026-226-0086)に連絡ください。保団連では、集まった募金を、主に、被災した会員の救済と診療機能の回復、復興支援にあてます。

求には「現場の声も踏まえて対応していく必要があるが、限られた財源の中、中医協で審議いただく、これに尽きる」と述べるにとどまった。歯科訪問診療科の20分ルール(20分以内)の時間要件廃止に関しては「ほとんどの訪問診療が30分以上」との調査結果があったことをあげ、以前の施設での「2人目以降30分を超えた診療」比べ、全てで「20分になった。どちらかといえ、緩和の方向に対応させていただいた」と応じた。また関連して「その他の要求項目」にあげていた歯科での往診の復活要求に対しては、医科・歯科差異の是正について、逆にブロック側が意見を求められる場面もあった。新潟・浦田副会長から「医療を提供する側、受ける側双方が分かりやすいシステムであるべき、そこに点数を当

てはめれば点数の多寡はあっても大きな不満は出て来ないのではないか」「1初診1回、1歯1回等の制限はアクシデントに対応できず、合理性がない。例えば歯周疾患の咬合調整については少なくとも検査実施毎の算定としたらどうか」等も提案し、「現場の声を聞きたい」という厚労省側の姿勢にも対応した懇談となった。宮原課長補佐は22年改定の担当者、次回改定でも重要な役割が予測される。ブロックでの懇談内容の記録集約作業が終わり次第、要望事項での補足発言と懇談で示された厚労省担当者の考え方を紙面で詳しく紹介の予定。

新しい「共済体保」
お申込みお問い合わせは代理店の
長野県保険医協同組合 026-223-0345

ね。と最初は普段の地震とさほど変わらないうえ、少し大きいくらいと思っていた。ところがその日の診療中のFMから大変なことになっていることが徐々に分かってきた。相当大きな地震であったこと。そして数日間に地震よりも津波被害が大きいことが報道され、加えて福島原発問題も発生していることがわかってきた。福島には協会活動で知り合った先生がおり、どうやったら連絡が取れるかわからないでいた。どうしているだろう...沿岸ではないはず...でも原発の影響は...とても心配したが、協会の若手懇談メンバーリストで事務局から連絡が取れ、無事で避難所生活していることがわかった。地震発生時は診療所内がぐちゃぐちゃになったそうである。今は家に戻れたとのこと。ただ水が出ない。これからどうなるのだろう。診療が再開できるのはいつになるのだろうか? 第一、生活はできるのだろうか? 被曝は? 心配なことだらけである。今僕達は何ができるか? 若手懇談実行委員会メンバーではメールリストで全国と連絡をとりながら、みんなで1日分の診療売り上げを集めて寄付し、被災地で地域医療に関わる先生方の復興支援をしてはという案が持ち上がっている。自分達に身を置き換えて考えれば、今診療できることがなんて幸せなことか。自分ができることは何かを考え行動し協力し合って生きたいと強く感じている。

鶏声
3月11日午前の診療を終え、スタッフと食事を終え雑談してところ突然の大きな揺れを感じた。「今日の揺れはすごいぶん大きいね、まだ揺れているね」と最初は普段の地震とさほど変わらないうえ、少し大きいくらいと思っていた。ところがその日の診療中のFMから大変なことになっていることが徐々に分かってきた。相当大きな地震であったこと。そして数日間に地震よりも津波被害が大きいことが報道され、加えて福島原発問題も発生していることがわかってきた。福島には協会活動で知り合った先生がおり、どうやったら連絡が取れるかわからないでいた。どうしているだろう...沿岸ではないはず...でも原発の影響は...とても心配したが、協会の若手懇談メンバーリストで事務局から連絡が取れ、無事で避難所生活していることがわかった。地震発生時は診療所内がぐちゃぐちゃになったそうである。今は家に戻れたとのこと。ただ水が出ない。これからどうなるのだろう。診療が再開できるのはいつになるのだろうか? 第一、生活はできるのだろうか? 被曝は? 心配なことだらけである。今僕達は何ができるか? 若手懇談実行委員会メンバーではメールリストで全国と連絡をとりながら、みんなで1日分の診療売り上げを集めて寄付し、被災地で地域医療に関わる先生方の復興支援をしてはという案が持ち上がっている。自分達に身を置き換えて考えれば、今診療できることがなんて幸せなことか。自分ができることは何かを考え行動し協力し合って生きたいと強く感じている。

(K・O)